

2026.8.27 (木)
第8回例会
(通算3865回)

2026-2027 年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン「志を継ぎ、未来を拓く 90 年」

会長 工藤 彦夫
副会長 市橋 多佳丞
幹事 八幡 好洋

例会日 毎週木曜日 12:30 ~ 13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町 5-3 三ッ輪ビル 2F

編集責任者 クラブ会報・雑誌・公共イメージ委員会

☎ 0154-24-0860 📠 0154-24-0411

2026-2027 年度
国際ロータリーテーマ

持続可能な
インパクトを
生み出そう

CREATE LASTING IMPACT

2026-2027 年度
RI 会長 オンライン・ハキーム・ババロラ

第 2500 地区ガバナー
山本 倫生 (旭川 RC)

「親睦から始まる持続可能な奉仕!」

本日のプログラム 釧路ロータリークラブ 創立 90 周年 に向けて (創立 90 周年委員会委員会)

次 週 例 会 会員卓話「法律をめぐる話題」(プログラム委員会)

■ロータリーソング：我らの生業 ■ソングリーダー：本間 剛君

■会員数 108 名

■ビジター

■ゲスト

会長の時間 工藤 彦夫会長



皆さん、こんばんは。僕の昔の話なのですけど。昔、太平洋炭鉱の下請けの栄和産業というところに勤めていました。そこは何やっている

所かという、炭鉱の坑道を掘る会社で、それには何社かがあって、石炭が前面にあるときは直轄が掘るのですが、少しでも石が出たら直轄の人は遅いので下請けに回されるという仕事なのです。

「切羽 (きりは)」を作るのに「ゲート」と「風坑 (ふうこう)」というのがあるのです。ここに切羽面を作って、ゲートというのは、駆動部になるから真っ直ぐ掘らないとダメなのです。風坑は何もないから、僕は少し酔った人間みたいにフラフラして、真っ直ぐ掘れる技術がないのでその風坑側なのです。

ゲートは、真っ直ぐでないと後々絶対に問題が起きるという坑道なのです。これをやるのは下請けでも素晴らしい人たちが集まる場所で、現場も当然きれいです。僕は栄和と言いましたが、栄和は、乞食が物を食べた跡みたいにだらしくやっていて、真っ直ぐは掘れないというところなのです。

三番方というのは三交代のことですが、たまたま、その同じ三番方にある人がおりました。昔の若い時には

色男でね、いつも身なりがピシッとしているのです。僕は後々、ロータリーに入ってから気づいたのです。ロータリーに入ってから、その人に「君、ここで、こういうことやってなか」と。「そうです」。やっぱり、きちんとしている。

それが協実行委員長なのです。今回、お願いしたのは、そういうことを知っていますし、ロータリーのいろいろなことも当たり前のことですし、J C の時もいろいろなことをやっても、真面目にきちんと細かくやるというのが大好きというか、素晴らしいことなのです。僕には無いことがあるのです。実行委員長をはじめ、その一味が決めた周年のプログラムがあるのですけども、きっと素晴らしい。少し見ると、本当に何回も集まってきめ細かなところまで決めています。

今日は、その話なのですよ。ここに書いてあるとおり、僕らがやることは、実行委員長を含めた皆さんが決めたことに忠実に従って。ただ、いろいろなことで抜けているかもわからないので、その辺をみんなで話し合いながら、というのが今日の趣旨なのです。

90 年を輝かせるためには、1 人 1 人の力が大切なのです。

今日は一日、よろしく願いいたします。

幹事報告 八幡 好洋幹事

幹事報告をさせていただきます。先週の例会後に 10 月 10 日に旭川で開催されます地区大会のご案内

を発信させていただきました。前日の10月9日の夜に釧路ナイトを開催しまして、翌日10日が本会議となっております。出欠の回答がまだの方はぜひお早めに回答をお願いいたします。

また12月1日から4日にかけて、大阪にて開催される第55回ロータリー研究会の案内が事務局に届いております。参加をご希望の方は八幡までご連絡をいただきたいと思います。

■本日のプログラム■

釧路ロータリークラブ 創立90周年に向けて

創立90周年記念実行委員会 濱口 憲太実行幹事



皆さん、こんばんは。創立90周年記念実行委員会・実行幹事を務めております濱口です。本日のプログラム

ム、夜間例会、『仲間の力が90周年を輝かせる。つながりの道 その先へ、創立90周年に向けて』を開催させていただきます。

今から90年前の1936年11月23日に、当時、平均年齢40歳を若干超える若いチャーターメンバー30名の下、釧路ロータリークラブは創立をされました。道内では7番目、国内では26番目、世界では4092番目に創立されました。その由緒正しく、歴史と伝統の重みが90年間、脈々と今日に紡がれております。

本日の例会では、開催が間近に迫りました創立90周年、各事業の内容をお伝えするとともに、部会ごとに周年事業に向けて交流をととして会員皆さまで大いに語らいながら、楽しく大切な時間にしてまいりたいと思います。

最後まで皆さま、どうぞよろしくお願い申し上げます。

実行委員長挨拶 脇 弘幸実行委員長



皆さん、こんばんは。もう、濱口実行幹事は気合が入り過ぎていまして、本番の動画よりもこっちの方が

良いのではないかとというぐらいの出来栄でした。本日、この90周年についての例会を設けていただきまして本当にありがとうございます。今回の90周

年の実行委員会は3月からスタートをさせていただきました。これまでに7回開催をさせていただきました。今は部会長、副部会長を中心に細かいところも含めてしっかりと準備進めているところです。

そして、記念式典、祝賀会までは1カ月余りということで、その記念式典・祝賀会の前の週には、斎藤佑樹さんと呼んでの記念講演があります。その記念講演には地域の方々も大勢参加される大きな事業となります。まずは、この記念講演をしっかりと成功させて、そして、翌週の記念式典・祝賀会にその勢いをしっかりとつなげていきたいと強く思っております。皆さん、どうぞよろしくお願いをいたします。

今回の実行委員会を進めている中で、思い出したことがひとつあります。それは、私がクラブ会長を務めていた2019年のお正月、1月の新年交礼会で清水ポストガバナーにご挨拶をいただきました。その時のご挨拶を思い出しましたので、挨拶の一部ですがご紹介をさせていただきたいと思います。

「うちのクラブは何か新しいことを、変わったこと、記念のことをやると、そのたびに強くなっていきます。どうぞ皆さん、力を合わせてやりましょう。鎖の力というのはひとつひとつの輪の強さです。皆さんが一步前進すると、釧路ロータリークラブは100歩前進します。どうぞクラブのために、地域のために、みんなのために、そして何よりも自分のために力を尽くしましょう。持っている力を十分に、無理なく、しかし、ちょっとだけ無理をして頑張りましょう」というお話でした。

この年は、吉田ガバナーエレクトの年で、4月にPETS、そして10月には地区大会という年でした。どうしても、みんなで頑張って進めていかなければならないそういう年でした。

本当は、この話をして、清水パストガバナーが言われた「みんなで、少しだけ無理をして頑張りましょう」という言葉で、みんなとともに90周年に向けてしっかりと進んでいこう、そういうお話で終わろうと思ったのですが、先日、「この挨拶の中で少しロータリーの何を何か話せ、付け加えよう」というリクエストがありましたので、もう少しだけお時間いただいてロータリーのことをちょっとお伝えしたいと思えます。

釧路ロータリークラブは1936年に皆さんがご承知のとおり札幌と帯広ロータリーのスポンサーの下、創立されて本年90年となるわけです。

では、このスポンサークラブというのは、何をするクラブでしょう。古い方は皆さんご承知のことと思いますが、このスポンサークラブというのは、新しいクラブを結成するときに、その結成に向けて力を貸す

クラブのこと、当然ですね。

結成をした後、その新クラブが国際ロータリーの一員としてしっかりと運営していけるように支援をするクラブ、そういう責任を引き受けたクラブとなります。このスポンサークラブは、R I のこれ規定にはないそうです。これは「できれば、儲けてください」という R I の理事会による強い推奨事項だということだそうです。小船井さん、合っていますかね。(合っています)ありがとうございます。ということなのです。

それと、新クラブを結成するときに特別代表という方がおります。この特別代表は、ガバナーの指名によって、ガバナーに代わってクラブの結成の手続きを進めて行く人のことをいいます。

新しいクラブのその特別代表は、アドバイザー的な役割も担うことになります。当然、そのスポンサークラブの中から特別代表は指名をされることになります。これは、クラブのホームページも出ておりますので、見てもらえればわかりますけれども、1958年に釧路北ロータリークラブが作られたときは、嵯峨晃さんが特別代表を務めています。その他にも中標津や根室、白糠も嵯峨晃さんが特別代表を務めております。

このように釧路ロータリークラブの諸先輩が残してきたクラブの功績というものに恥じないような、しっかりとしたこの創立 90 周年を實行したいと、思っております。

皆さんが協力をしながら、しっかりと頑張って当日に向かっていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いをいたします。

すいません、少し長くなってしまいましたけども、どうぞよろしくお願いをいたします。ありがとうございます。

乾杯のご発声 吉田 潤司バストガバナー

皆さん、こんばんは。多くの会員が集まっています、ちょっと緊張気味です。これは祝賀会でもないし、



激励会ですから、挨拶もどんな挨拶にするか、どんなこと話せばいいのか、よくわからないのですが、思ったことだけをお話します。

本当に式典を開くために部会を開いて、脇委員長をはじめ、皆さまが本当に時間と労力を惜しまずにやっていただいたことに感謝したいと思います。私ももう少し若かったら、いっぱいお手伝いをしたいのですが、ちょっと難しいので。でも、バストガバナーの小船井さんはまだ若いですから、機会がありましたらぜひ

ひ使っていただければと思います。

釧路クラブは 90 年を迎えます。この素晴らしいクラブを作ってきたのは、現会員の皆さま方ですけど、また、地区・分区・多くのロータリーアンの皆さまにも応援、協力、友情をもらいながら来ました。また、今はクラブを離れてしまった会員の方にも在籍しているときは、ずいぶん助けていただいて、楽しいクラブを作ってまいりました。

そういう意味では、皆さま方に今日、感謝の気持ちを持って、ぜひ記念式典をやっていただきたいと思います。

記念式典で大事なことは、立派な料理ではなくて、立派なゲストでということじゃなくて、おもてなしの気持ちだと思います。私はテーブルに座って思い出したのですが、私の地区大会のときには炉端焼きをやりました。炉端焼きをやった人たちは、炭で焼くときに背広を着るわけにいかないので、作業服を着ながらやりました。終わったら、もう自分たちの出番がないので、なんかかわいそうでした。でも、これは素晴らしいおもてなしだったと思うのです。

会員の皆さん、他の土地から来た皆さんが、今でも私がお会いする時には「あの時の炉端は良かった。美味しかった。でも、量が少なかった」と。私は「量は少なかったけど、あなた、食べ過ぎたのではないのか」というぐらいだったのです。そんなこともありました。

この 90 周年の記念式典では、脇さんが非常に几帳面にやっています。下にいる方は大変だと思います。1 ミリも狂ったら駄目だという感じでやっていると思うのです。やっぱり、これも脇さんのおもてなしの気持ちだと思うのです。

皆さまはおもてなしの気持ちを持っていますけども、それ以上に持って、いい記念式典になるようお願いをして、乾杯したいと思います。

それでは、素晴らしい記念式典になりますように、乾杯したいと思います。

(乾杯)

ありがとうございました。

創立 90 周年実行委員会・四部会の各部会事業説明

総務・会計部会 池田 一己部会長、本間 弘人副部会長、横田 英喜副部会長



皆さん、こんばんは。総務・会計部会を仰せつかっております池田です。副部会長に本間副部会長、横田副部会長で、主に対外的な緻密な

名簿関係を本間副部長、数字の得意な横田副部長が担っていただいております。よろしくお願いいたします。

私たちはちょっと長距離で3月ぐらいから動きが始まっております。何よりも間違いがないようにと、協実行委員長はもちろん、浅川統括部長もなかなかの緻密さで、脇さんから連絡が来たのかなと思うぐらいの緻密さです。でも、いろいろ浅川さんにも愚痴を聞いていただいております。

とにかく、90周年のお祝いに来ていただく皆さま方へのおもてなしという気持ちを忘れずに、最後のお礼状を発送するところまで、駆け抜けて行きたいと思えます。

この場でお礼です。小野田さんに本当に助けていただいています。総務部会のいろいろな対外的なものでは窓口の最前線に立っていただいているのが小野田さんです。その出欠やお礼の情報を毎日、私のLINEに送っていただいております。今年、一番LINEのやり取りしているのが小野田さんです。本当に感謝しています。これからもよろしくお願いいたします。

まず、正確・緻密に頑張っていきたいと思えます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

広報・接待部会 松井 聖治部会長、得地 哉副部会長、田向 隆之副部会長、五十嵐正弘副部会長、曾我部元親副部会長



広報・接待の部会長を仰せつかりました松井です。どうぞよろしくお願いいたします。副部会長には、広報・記録に得地さんと田向君をい

ただいております。また、接待エクスカースョンの副部会長には五十嵐さんと曾我部さんをいただいております。

広報と記録に関しては、周年が終わってからが本番スタートとなるような部会となっております。なかなか打ち上げられない難しい部会でありますので、年明けぐらいに記念誌を発行したいということで、終わってから黙々と仕事をこなさないといけない部会です。

ぜひ記録誌が出たときには、再度褒めてあげていただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

また、接待エクスカースョンについては、台北中央ロータリークラブの接待です。リストも付けておりますけれど、今回は、台北からパートナーを含めまして19名、メンバーが12名と奥様が7名で来てくれます。毎年、僕たちが行って本当に素晴らしい接待をしていただいております。台北から来るのは10年に1回です。

10年分の接待をしたいと思っております。

「最大級のホスピタリティを持って接待をしよう」という協実行委員長からの命令を受けておりますので、最大級のおもてなしをしたいと思っております。送り迎えに関しては、メンバーの皆さまにも参加していただいて、ぜひ一緒に送迎をしていただけたらと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

式典・祝賀部会 村上 祐二部会長、残間 巖副部会長

式典・祝賀会部会の部会長です。式典と祝賀会を合わせて1人の部会長というのがあるんだ、やる前から大変そうだなと思っていました。



始まったら、やっぱり大変でした。

協実行委員長、杉村副実行委員長が「一人だったら大変だから、ちゃんと部会メンバーに頼んでよ」と言うのですよ。見てください、ね。偉い人ばかりで、頼めるわけがないですよ。

失礼しました。式典と祝賀会では、80周年のときと違うところを中心に少し説明をさせていただきます。

式典はで、大きな違いはありません。まず、80周年のときの司会者は、メンバーだけでやりました。今回は、プロの女性の司会者とJR北海道の鬼頭君の2人で進めていきたいと思えます。

それと、10番目です。80周年のときはやっていないのですが、出席優秀者の表彰があります。これは在籍30年以上の方、11名の方をここで表彰したいと思っております。

式典は新しいことをやろうとは思っていません。本当に厳粛に間違いのないように、しっかり準備を進めたいと思えます。

これから皆さん方に、恐る恐る当日の役割をお願いしたいと思えますので、よろしくお願いいたします。

続いて祝賀会のプログラムです。こちらは80周年のときと少し趣を変えております。80周年のとき、あるいは他のクラブを見ると、余興で出てくる方々ではプロの方が多いのです。今回は、ロータリークラブですから青少年の育成に着眼して、高校2年生と中学生の4人の女子学生による管楽器のアンサンブルで皆さんお迎えしたいと思えます。これがウェルカム演奏です。ここはピアノと管楽器3人で30分くらい進めていきます。トランペットと管楽器だったらうるさいのでは、という印象を持つ方が多いのですが、そんなことはないのです。しっかりボリュームを抑えてやれますので。

4 番に「お祝いの演奏」というのがあります。これは鏡割りの前で、鏡割りの準備をしているときにステージの袖で、ピアノと管楽器 3 台のアンサンブルで演奏させていただきます。

そして、7 番の余興です。余興はふたつあります。台北中央ロータリークラブにお願いをしていますけど、僕的にはなくてもいいかなと思っています。松井さんには、すっかり案内を出さなかったことでいいのではと思っています。台北さんが終わってから最後に、女子学生たちが今度はポップスをやります。今までクラシックばかりでしたが、ここは皆さんがご存知のポップスを 3 曲演奏します。最後は盛り上がり終わる形にしたいと思っています。

女子学生は未成年ですから父兄の方も会場に来ていますし、公演依頼承諾書というものも取り交わして進めていきますのでご安心ください。

私からは以上です。これから皆さん方のたくさんのご協力をいただかなければなりません。どうか皆さん、よろしくお願いいたします。

記念事業部会 日理 一哉部会長、西田 一博副部会長、小野寺 俊副部会長、



皆さん、こんばんは。記念事業部会の日理です。今日は来ていないのですけれども、斬新なアイデアをお持ちの小野寺副部会長、そして、西田副部会長です。この強力なメンバーでやってくれて本当に心強かったです。

記念事業ですけれども、斎藤佑樹がメインメイン事業になっておりますが、これまでふたつの事業やっておりますのでパワーポイントで説明させていただきます。

鉦路ロータリークラブ創立 90 周年事業として、7 月 18 日に日台親善小学校交流演奏会を鉦路芸術館で行わせていただきました。その様子と会場はこんな感じで、鶴間市長にもご挨拶いただきました。こちらが、鉦路子どもミュージカルキッズロケット。こちらが鳥取小学校金管同好会。それから台湾の新竹市東区三民小学校国楽団の皆さんにお集まりいただき交流を深めました。個人の演奏もあったのですが、揚琴（ようきん）という中国の楽器の演奏も印象的でした。

終わってから、会長が「石井、ちょっと来い」となって、こんな感じになっていました。名コンビ、迷う方の迷コンビなのかな、はい。

続きまして、嵯峨久氏銅像清掃活動です。2026 年 8 月 6 日に嵯峨記念奨学生の保護者とともに市清掃活動を行いました。その後の例会で昼食を一緒にとって

います。

嵯峨久氏の銅像は「まなぼっと」の近くで、この角にあります。こんな感じで清掃して、工藤会長も自前のチェーンソーを持ってきて木を切っていました。村上さんも自前の草刈り機を持ってきて、隣が渡部哲大君です。イタドリの根っこがすごかったです。

8 月 3 日の月曜日に事前の清掃活動をやって 6 日に備えたのですが、これをやっていなかったら 6 日の一日では間に合いませんでした。嵯峨記念の奨学生が 7 名と保護者の方が 2 名です。鉦路ロータリークラブのメンバー 23 名で清掃活動を行いました。

石井さん、また工藤会長にいじられておりまして、迷コンビということで石井さんお疲れ様でした。こんな感じで清掃活動を行いました。

その後、例会で昼食を取ったのです。嵯峨の奨学生と交流する機会がなかったので、このような事業がこれからも何かしらあるといいのかなと思いました。

続きまして、鉦路ロータリークラブ創立 90 周年事業のメイン事業です。斎藤佑樹氏の講演会 in 鉦路を 9 月 25 日金曜日 6 時半から 7 時 45 分まで行います。クローズですけれども、5 時半から 45 分ぐらい、斎藤佑樹さんとロータリーカップでもご協力いただいている鉦路リトルシニアとの記念写真撮影会が行われます。

斎藤佑樹さんはどんな方だったかなと思い出すのに紐解いてみました。2006 年、20 年前、70 周年のときで、青田バスト会長のときに行われた試合です。これも何かの巡り合わせなのかなと思っておりました。決勝戦で、延長 15 回を 1 対 1 で決着がつかず、翌日に再試合です。4 対 3 で早稲田実業が全国制覇しました。その後、大学に行って、日ハムに入団。そして令和 3 年に引退して、株式会社斎藤佑樹を設立という流れ、経験をお持ちの方です。今回は、本当に夢に向かって努力すること、それから挫折とか逆境に向かっていく向き合い方とか、それから第二のセカンドステージとして挑戦していることもお話いただけたらと思っています。

これも、ロータリーとして通じるものがあると思いますので、そういったことをお話いただいて、1 人でも、ひとつでも、大きな学びをいただける時間にしたいと思っています。

皆さんには多くの人をお誘いいただいて、動員も協力していただきました。定員 700 名に対し、今朝が 697 人でしたけど、先ほど 700 名に行きました。ご協力ありがとうございました。

その 700 名の他に、リトルシニアの方とか保護者もいるので、100 名は見込まれます。会場は 806 人で満席なのですけれども、動員はいいところできたと思っています。700 名の歩留まりがよくわからないのですけれども、自分で申し込んでいるので、割と高

いのかなと期待をしています。700名の9割で630名。プラス100名で730名なのです。これにロータリーメンバーは入れていません。会場は806人で椅子満席なので、まあまあいいところ行くのかなと思っております。

あと、スポンサーの方を中心にロータリーになかなか参加できてないメンバーにこの機会にお呼びいただいて、全員で100%出席を目指したいと思っていますので、よろしくお願いいたします。

お手元にある資料には、当日9月25日の金曜日には予定も書いておりますけども、記念事業部会だけでは人手が全く足りないのです。受付とか駐車場誘導係、会場誘導係も相当いると思います。割り振りはしますけれども、全員が5時ぐらいには来て、皆さんをお出迎えする準備をしていただければならないと思いますので、よろしくお願いいたします。

何とか頑張って、この成功をきっかけに式典・祝賀会につなげていきたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。ありがとうございました。

実行委員会 濱口 憲太実行幹事

4部会の部会長の皆さま、そして副部会長の皆さま本当にありがとうございました。

皆さまにお配りしている資料のうち、各事業のスケジュールがあると思います。お持ち帰りいただいてご覧いただきたいのですが、クラブメンバーの参加対象事業について時系列に書かせていただいております。

各事業の実施日、実施時間、そして、集合時間が記載されています。これは、改めて皆さまにご連絡を申し上げるところでございますが、ぜひとも事前に把握いただければ幸いです。

また明日28日に事務局より周年各事業の案内文書と出欠の返信文書を皆さまに事務局よりメールをさせていただきます。大変恐縮ですが、出欠をご記載のうえ、期日までのご返信をお願いします。皆さまどうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

皆さまには部会単位でテーブルにお座りいただいております。これからは部会交流を始めていただきたいと思います。

各部会の部会長さんを中心に、それぞれの内容、スケジュールなど確認を行っていただければと思います。

部会交流は今から19時50分を目途に考えています。とはいえ、食事とお酒を楽しみながら、90周年の話で楽しく語り合いながら進めていただければ幸いです。

皆さま、どうぞよろしくお願いいたします。

(部会交流)

(手に手つないで)

実行委員会 濱口 憲太実行幹事

それではお時間となりました。ここで中締めのご挨拶を、創立90周年記念実行委員会・副実行委員長・杉村莊平君より賜りたいと存じます。

杉村副実行委員長、よろしくお願いいたします。

中締めのごあいさつ

創立90周年記念実行委員会 杉村 莊平副実行委員長

皆さん、こんばんは。今日の例会は、いかがだったでしょうか。いいお話ができたのかなと思っています。

僕の中では、90周年が無事に終わって100周年の実行委員長のポスト、今の第一候補は濱口健太になってきたんだと。100周年レースは濱口君がちょっとリードしているみたいかな。本人もだいぶ興奮しているなという印象ですが、いかがだったでしょうか。

改めて、クラブを良いものにしていきながら、次の世代にもぜひしっかりバトンを渡していく。それによって地域にも良い影響を与えて、増強にもつながっていく。そういう大きな循環を、クラブ全体でしっかりと認識していくのが周年事業だと思っています。

そういう意味では今日もそうですけども、ここ数年、有能な若いメンバーが本当に育ってきたなと思っています。工藤会長も、協実行委員長も、その辺を本当に大きく捉えております。この若い世代がいかにこの90周年に関わっていただくかということで、これらの釧路クラブの将来を大きく左右することになってくる、と考えているように感じております。

そういう意味では、あと1カ月になりました。この若い世代をしっかりと引っ張り上げていく意味でも、ベテランの皆さん、中堅の皆さん、転勤族の皆さん、楽をさせるわけにはいきません。クラブをしっかり一丸とまとめて、しっかり引っ張って、釧路クラブらしい素晴らしい90周年にしていきたいと思っていますので、これから1カ月、どうぞよろしくお願いいたします。ということで締めたいと思います。

それでは、90周年が皆さんの総意で大成功に終わること、それから100周年に向けて、しっかりとバトンをつなげられること、みんなで祈念して今回は3本でいきたいと思います。お手を拝借

(三本締め)

ありがとうございます。

実行委員会 濱口 憲太実行幹事

杉村副実行委員長、ありがとうございました。
以上をもちまして「夜間例会、仲間の力が 90 周年を
輝かせる、つながりの道 その先へ、創立 90 周年に
向けて」を閉会させていただきます。



本日のニコニコ献金

■米本 富夫君 なゆたの会で優勝する事が出来ました。ありがとうございます

今年度累計 92,000 円